

被災宅地危険度判定 判定票の記載例

※判定項目に着目して記入しており、応急措置状況などについて
既存の判定票・写真で記載がない又は判別できない箇所は本資料
では未記入としております。

(実際の判定にあたっては、必要事項の記載をしてください。)

【記載例-1】 擁壁の被害(1)

例題-1 (現場写真)

①



②



③



④

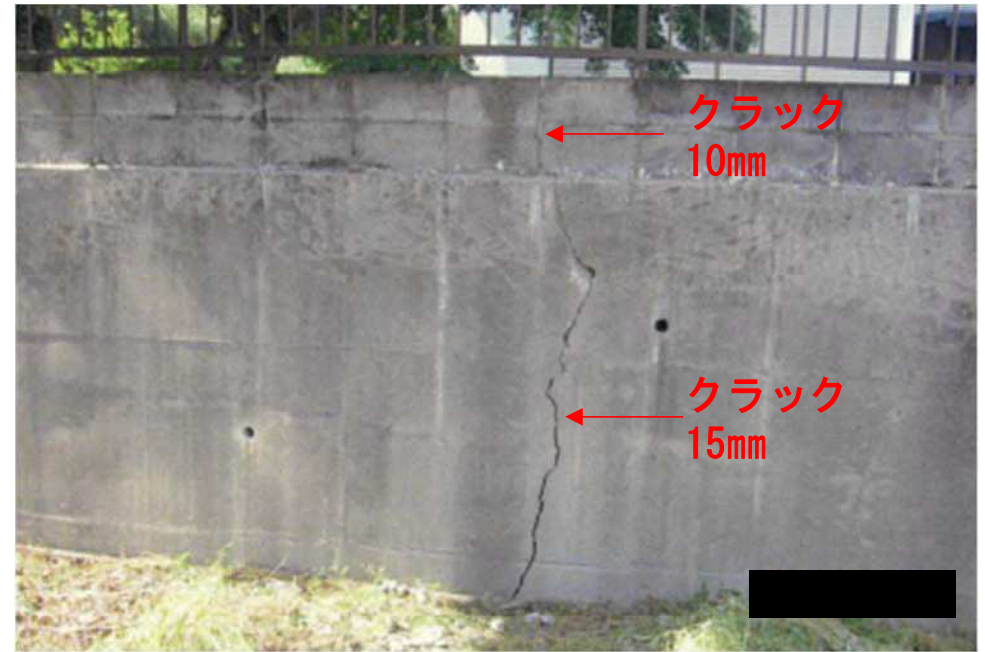


例題-1 (現場写真)

⑤



⑥



⑦



例題-1 (記載例)

(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

調 査 票	調査日時	年	月	日	時	調査番号		
	地震名又は降雨災害名							
被害発生場所	都道府県		市郡		区町村			
	地区団地		丁目		番号			
所有者・管理者氏名	記入者氏名		TEL:					
所有者・管理者の連絡先	TEL:	居住者への説明	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 居住者不在 <input type="checkbox"/> 老人独居住宅					
<被災状況図>						応急措置 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了		
						<input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録		
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷	9.基礎及び基礎地盤の被害	10.排水施設の変状	建物・道路との位置関係(基礎点) 					
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。								

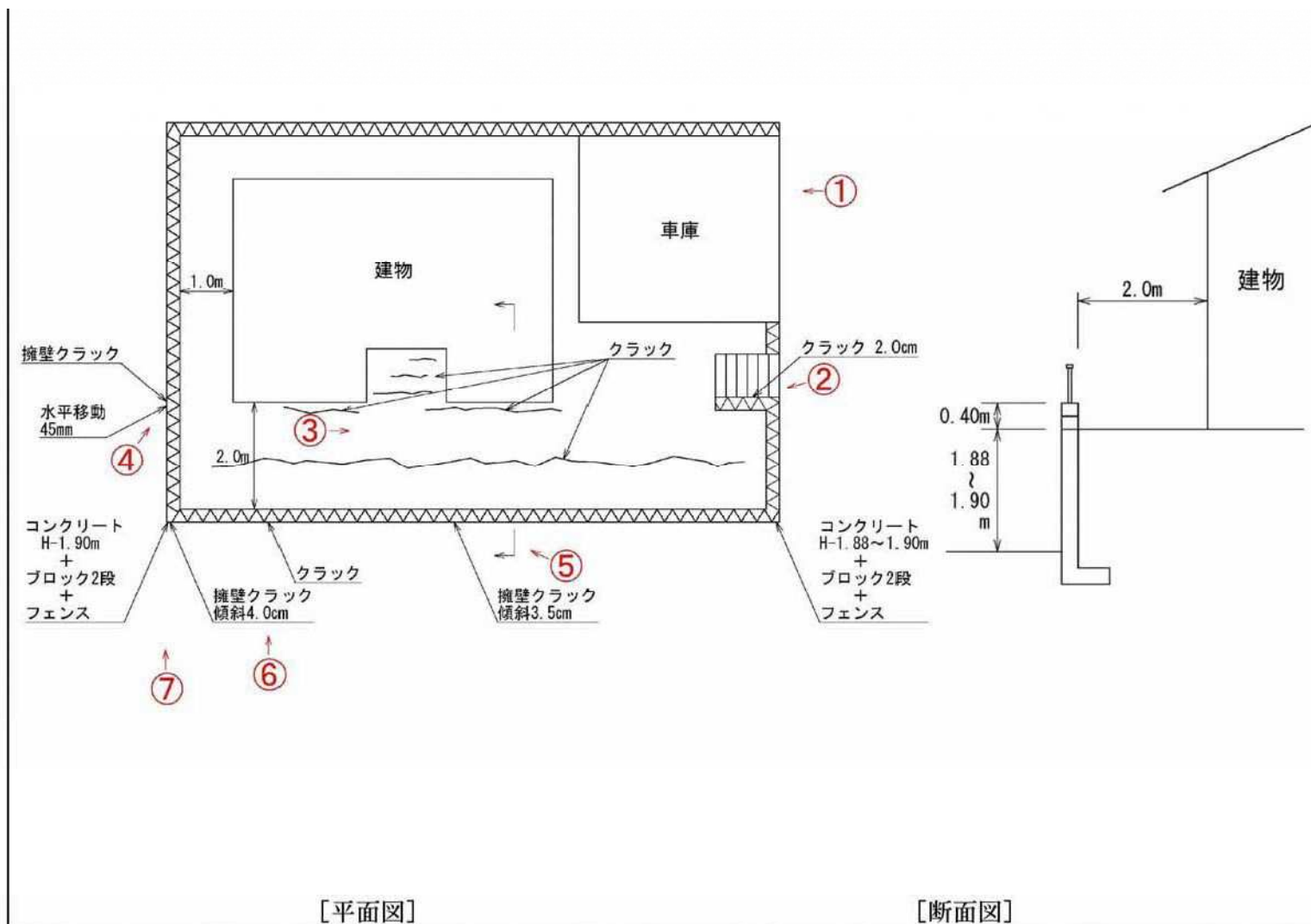
写真・図より

解説

被害状況図には、写真、図よりクラック、水平移動、傾斜を生じていますので○を付けてください。

影響範囲は擁壁の下に道路や建物がありませんが、擁壁上部から2 mに建物があるため、Aとなります。

例題-1 (記載例)



解説
 擁壁タイプは、RC
 擁壁の上部に建築ブ
 ロックがあるため増
 積となります。
 写真・図よりL型擁
 壁に1.5~2.0cmのク
 ラックが生じ、45mm
 水平移動しているこ
 とが分かります。
 また、建築ブロック
 を擁壁に使用して
 1cmのクラックが生
 じています。
 擁壁が傾斜していま
 す。

被災写真の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有→写真番号 []
特記事項	地盤面にひび割れ、擁壁にクラック、傾斜あり。 今後の余震、降雨等に注意が必要。

例題-1 (記載例)

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	<input type="checkbox"/> L(逆T)型 <input type="checkbox"/> 重力式 <input type="checkbox"/> もたれ式 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 増積み擁壁	増積部分 コンクリートブロック2段
		<input type="checkbox"/> 場所打ち <input type="checkbox"/> プレキャスト <input type="checkbox"/> 間地石 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 二段擁壁	擁壁部分 L型擁壁
		<input type="checkbox"/> 玉石積 <input type="checkbox"/> くずれ石積 <input type="checkbox"/> 間地石 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 張出し床版付擁壁	全擁壁高 2.3 m 増設高 0.4 m
		<input type="checkbox"/> 空石積擁壁 <input type="checkbox"/> 間地石 <input type="checkbox"/> その他		擁壁の設置条件	上部高 断面図より m; 下部高 断面図より m
		擁壁の勾配		度 又は (1 :)	
基礎点	①湧水	乾燥		<input checked="" type="checkbox"/> 影響範囲に建物または道路がある(A)	<input type="checkbox"/> 影響範囲に建物または道路がない(B)
		湿潤		0	0
		にじみ出し、流出		0.4	0.2
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止		0.8	0.4
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		0	0
		水抜孔無、あっても数・寸法が不適當		0.4	0.2
	③高さ	H≤1m		0.8	0.4
		1m<H≤3m		0	0
		3m<H≤4m		0.2	0.1
		4m<H≤5m		0.4	0.2
5m<H		0.6	0.3		
		基礎点計 ①+②+③		0.6	

解説

基礎点は、写真より湧水がなく乾いているので0点、排水施設0.4点、擁壁高さが2.3mなので0.2点、合計0.6点となります。

例題-1 (記載例)

区分	項目	小						中						大					
		コクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コクリ	練積	増積	2段	張出	空積
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し床板対擁壁の支柱の損傷					7						9							10
	9 基礎及び基礎地盤の被害							10											
	10 排水施設の変状	3						5						7					
	11 擁壁背面の水道管等破裂							10											
変状の程度	項目/程度	小						中						大					
	1 クラック(幅)	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)						2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm未満)						20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)					
	2 水平移動(傾斜目地前後のずれ)	5mm未満の欄間変位がある。						5mm~50mm未満の欄間変位がある。						50mm以上の欄間変位がある					
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。						5mm~50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。						50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。					
	4 ハラミ(テンションクラック・ずれ・中抜け)	個抜け落ちる						宅地地盤にテンションクラック無し 凹みのおそれ無し						宅地地盤にテンションクラック有り 凹みのおそれ有り					
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm未満の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直以上(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)						擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っているもの。					
	6 擁壁の折損(横・ななめひび割れから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)					
	7 崩壊	中掘りから上が滑っている。						基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。					
	8 張り出し床板対擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱の剪断破壊					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																	
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端前面、側面面にクラックが見られる。						左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。						水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。					
11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が漏出している。																		
被害の判定値	基礎点 + 変状点						☆被害程度の点数と危険度判定☆												
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">0.6</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">6.0</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">6.6</div> <div style="margin-left: 5px;">点</div> </div>						無被害: 0点(防災上問題無し) 小被害: 1~4.5点未満(当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5点~8.5点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)												
危険度判定	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無																		
所見記入者の意見	緊急度	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小						(人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)											
※無被害の場合は記載無し	拡大の見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 判断不可						(備考:)											

解説

変状点は写真・図より増積擁壁のクラックが2.0cmで6.0点、水平移動が4.5cmで4.5点、傾斜が4cmで6.0点となります。したがって、被害の判定値は、基礎点が0.6点、変状点が6.0点となるため、合計6.6点の中被害となります。緊急度は中、拡大の見込み有となります。

【記載例-2】 擁壁の被害(2)

例題-2(現場写真)

①



②



③



④



例題-2(記載例)

(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

調 査 票	調査日時	年	月	日	時	調査番号		
	地震名又は降雨災害名							
被害発生場所	都道府県				区町村			
	地区団地				番		号	
所有者・管理者氏名				記入者氏名	TEL.			
所有者・管理者の連絡先	TEL:	居住者への説明		<input type="checkbox"/> 済	<input type="checkbox"/> 未了	<input type="checkbox"/> 居住者不在	<input type="checkbox"/> 老人独居住宅	
写真・図より <被災状況図>						応急措置 <input checked="" type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録		
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷		9.基礎及び基礎地盤の被害		10.排水施設の変状		建物・道路との位置関係(基礎点) 		

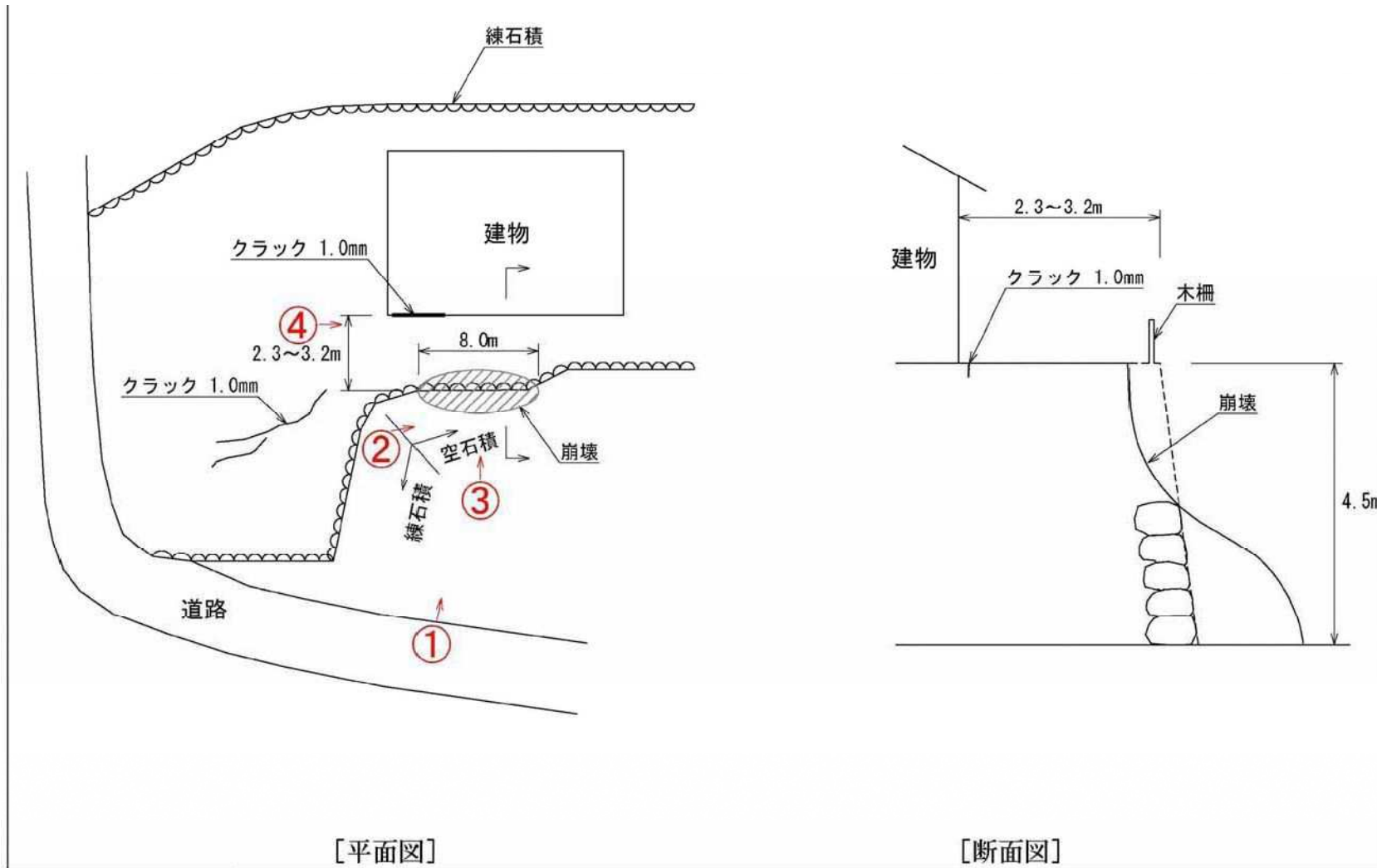
ブルーシートで措置されているため

写真・図より

解説

被災状況図は写真・図より崩壊に○をつけます。
 写真から応急措置は済にチェックをつけます。
 影響範囲は、擁壁上部に建物があるのでAとなります。

例題-2(記載例)



解説
擁壁のタイプは写真・図から空石積の間地石となります。擁壁の上部が崩壊しています。

被災写真の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有→写真番号 []
特記事項	石積崩壊による家屋損傷の恐れあり。

例題-2(記載例)

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	<input type="checkbox"/> L(逆T)型 <input type="checkbox"/> 重力式 <input type="checkbox"/> もたれ式 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 増積み擁壁 <input type="checkbox"/> 二段擁壁		上部高 m ; 下部高 m	
		<input type="checkbox"/> 場所打ち <input type="checkbox"/> プレキャスト <input type="checkbox"/> 間地石 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック <input type="checkbox"/> その他[]		<input type="checkbox"/> 張出し床版付擁壁 <input type="checkbox"/> その他[]		擁壁の設置条件 <input type="checkbox"/> 切土・盛土境 <input type="checkbox"/> 軟弱地盤上 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> 不明	
		<input type="checkbox"/> 練石積擁壁 <input type="checkbox"/> 玉石積 <input type="checkbox"/> くずれ石積 <input checked="" type="checkbox"/> 空石積擁壁 <input checked="" type="checkbox"/> 間地石 <input type="checkbox"/> その他[]		擁壁の勾配 度 又は (1 :)			
				<input checked="" type="checkbox"/> 影響範囲に建物または道路がある		<input type="checkbox"/> 影響範囲に建物または道路がない(B)	
基礎点	①湧水	乾燥		0		0	基礎点計 ①+②+③ 1.0
		湿潤	写真より	0.4		0.2	
		にじみ出し、流出		0.8		0.4	
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止		0		0	
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		0.4		0.2	
		水抜孔無、あっても数・寸法が不適當		0.8		0.4	
	③高さ	H ≤ 1m		0		0	
		1m < H ≤ 3m		0.2		0.1	
		3m < H ≤ 4m		0.4		0.2	
		4m < H ≤ 5m	図より	0.6		0.3	
		5m < H		0.8		0.4	

空石積は構造的に水抜孔の効果がある為、天端状況で判断。

写真より

図より

解説

基礎点は写真・図から、湧水はないので0点，天端に水が浸透しやすいので0.4点，擁壁の高さは4.5mなので0.6点となり，合計で1.0点となります。

例題-2(記載例)

区分	項目	小						中						大					
		コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5	2.5	3.5	4	5	7	4	5	6	7	8			
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7	4.5	5	6	7	9	6	7	8	9	10			
	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8	6	7	8	9	9	8	9	10	10			
	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8	7	8	8	9	10	8	9	10	10	10			
	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9	7	8	9	9	10	8	9	10	10	10			
	7 崩壊		9	9	10	10	8	10	10	10	10	9	10	10	10	10			
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷					7					9					10			
	9 基礎及び基礎地盤の被害	10																	
	10 排水施設の変状	3						5						7					
	11 擁壁背面の水道管等破裂	10																	
変状の程度	項目/程度	小						中						大					
	1 クラック(幅)	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)						2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm未満)						20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)					
	2 水平移動(伸縮目地前後のずれ)	5mm未満の隙間(変位)がある。						5mm~50mm未満の隙間(変位)がある						50mm以上の隙間(変位)がある					
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。						5mm~50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。						50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。					
	4 ハラミ(テンションクラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1~2個抜け落ちる)						宅地地盤にテンションクラック無し 円弧すべりのおそれ無し						宅地地盤にテンションクラック有り 円弧すべりのおそれ有り					
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm未満の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直 (コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直 (コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)					
	6 擁壁の折損(横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)					
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。						基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。					
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱の剪断破壊。					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																	
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。						左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。						水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。					
11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。																		
被害の判定値	基礎点 + 変状点		☆被害程度の点数と危険度判定☆																
	1.0 + 9.0 = 10.0 点		無被害: 0点(防災上問題無し) 小被害: 1~4.5点未満(当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5点~8.5点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)																
危険度判定	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)																
所見記入者の意見	緊急度	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小		(人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)															
※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 判断不可		(備考:)															

解説

変状点は、擁壁の基礎部は残っているため9点となります。したがって、基礎点1.0点、変状点9.0点となるため、合計10点の大被害となります。緊急度は大、拡大の見込み有となります。

写真・図より